

# 情報公開文書

研究の名称	血中ナイアシン濃度と母子の健康に関する調査（エコチル調査の追加調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者 （所属・氏名）	富山大学 学術研究部医学系・分子医科薬理学講座教授 中川 崇
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> エコチル調査の追加調査「血中脂肪酸組成と母子の健康に関する調査」にて同意を得た 3,837 組の母児</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> ナイアシン（ビタミン B3）は、ニコチンアミドとニコチン酸の総称で、水溶性ビタミンです。体内で補酵素ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド（NAD）に合成され、重要な生理機能を果たします。ナイアシン欠乏症はペラグラとして知られ、皮膚炎、認知症、腸炎を主症状とします。現代では稀ですが、アルコール多飲者などで散見されます。 近年、NAD が老化や様々な疾患と関連することが注目されています。加齢に伴う NAD レベルの低下が、エネルギー代謝、DNA 修復、ストレス応答の低下を引き起こし、老化を促進すると考えられています。また、NAD 欠乏が先天性異常の誘発との関連も指摘されています。そのため、妊娠中の女性や生まれてくる子どものナイアシン栄養状態が女性自身の健康や出生児の発育にも影響を及ぼす可能性が考えられますが、現時点では明らかなデータがありません。 本研究では子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の追加調査として既に妊娠期女性の血液検体と臍帯血検体を取得した「血中脂肪酸組成と母子の健康に関する調査」の試料を用いて、母体のナイアシン栄養状態と妊娠期女性の健康状態や出生児の発育の発育や疾患罹患との関連を検討します。母体のナイアシン栄養状態と子どもの発育などとの相関が明らかになれば、将来的な予防介入のための重要な知見となります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 「血中脂肪酸組成と母子の健康に関する調査」に同意し、提供いただいた母体血と臍帯血の血清から、液体クロマトグラフィー質量分析計もしくは酵素法で血中のナイアシンおよび類似の水溶性ビタミン類の測定をします。評価する健康状態や発育の指標はエコチル調査で取得済みのデータを用いて解析します。取り扱う試料および健康状態や発育の指標のデータは他の情報と照合しなければ個人を識別できないように仮名加工した情報です。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2032 年 3 月 31 日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表する予定です。</p> <p><b>【利益相反】</b> 本研究に関して、開示すべき利益相反関連事項はありません。</p>

<p>研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)</p>	<p>【エコチル調査で採取済み試料から測定する項目】 血中ナイアシン、関連代謝物、水溶性ビタミン類</p> <p>【エコチル調査で行う質問票や対面検査等で取得済み情報】 母親の心身の健康指標、出産転帰や、出生児の成長、神経発達、疾患罹患の指標</p> <p>他機関への試料・情報提供はありません。</p>
<p>研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名</p>	<p>富山大学長 齋藤 滋</p>
<p>研究資料の開示</p>	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
<p>試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)</p>	<p>研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・分子医科薬理学講座・教授 中川 崇</p>
<p>研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口</p>	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>TEL:076-415-8842 FAX:076-415-8843</p> <p>E-MAIL ecojimu@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>富山大学エコチル調査富山ユニットセンター 土田暁子(富山大学医学部・公衆衛生学講座・助教)</p>